



2023年6月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本塩町2-11
THE YMCA神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上真二
編集/本部事務局
印刷/南わかばやし印刷

YMCA News



年間聖句

「平和や互いの向上に役立つことを追い求めようではありませんか。」
ローマの信徒への手紙14章19節より



ほしの まさえ
元YMCA保育園園長 星野 昌枝さん (名誉会員)

「神戸YMCAがそれまで手がけたことなかった幼児教育を、千歳幼稚園から始めました。こどもたちの様子を見ながら幼児学級、学童保育という今とは逆の名前を付けて、長田にあるYMCAの中心的な課題として、家庭と幼児の教育が考えられました。」

これは、神戸YMCA元総主事の故今井鎮雄先生から頂いた手紙の中にあつた言葉です。その課題を担って、1970年10月1日に「西神戸YMCA保育園」が誕生したのです。

「一人ひとりの命を大切にすること、保育者自身の魂が主にあつて導かれ、「幼子を含む家庭」を丸ごと受け入れることです。保育者自身も、主に受け入れられていることへの感謝がなければ、安心安全の当たり前の保育はできません。それが今井先生の求めていた「家庭も含めた教育の場」としてのYMCAのあるべき姿なのでした。

今、現園長、職員が腐心して作り出している保育園のスペースは、ネーミングからして本当に素晴らしいと思います。例えば、施設内で行う「赤ちゃんサロン」しかり、外部施設で行っている「ふらっと広場」しかり。保育園には入れないけれど、子育てを共有できる場、また困ったときに相談できる保育者が常駐している場があつて、おそらく今後ますます需要は高まり、なくてはならない「親子の憩いの場」となるはずですよ。

保育は(子育ては)ある特定の場所で特定の人によってなされるものではなく、「みんなで子育て、親育ち=友(共)育ち」ができる場所として、そこ、ここにあり続けることが求められています。昔は「ランチ」が各所(明石・明舞・須磨・長田・三宮等)にあつて、若者やボランティアリーダーが集まる場所がありました。そこに生身の人間が集まり、語り合い、互いがこどもたちのために奉仕することに喜びを感じ合いながら、地域に溶け込み、つながり、広げていくことが普通になされていました。そしてそれはすべてが「よくなる」ことにつながりました。今その場所はどこにあるのでしょうか？

SNSやLINEでつながり、生身の顔や体で向き合うことなく会話を

「こどももと若者の居場所」づくり YMCAだからできる

し、方針を決め、自分の空いた時間を有効に使いながらの奉仕になっているのではないのでしょうか？ YMCAは本来、生身の体がぶつかり合い、心の琴線にふれていく、その中心に神様がいてくださる団体であるはずですが、それを知っている古い会員との交流の場が減り、直接伝え合うことができなくなっている状況が生まれていることを憂慮しています。

神様から託された「幼子に寄り添い、その尊い命をはぐくむ」という保育は、保育者自身の人間性を映し出す鏡でもあり、神様から負託を受けているという自覚を常に自己に問いかけながら、自分自身もまた一緒に成長させてもらえる存在であるという思いがないと続けられないのです。

今の時代は次世代への連携、伝達やつながることの楽しさ、大切さを共有する機会が減っているのではないかと危惧しています。それは「気持ち」だけでは十分とは言えず「場の設定」とセットなのです。「今YMCAに求められているのは何か」は、おそらく誰もわかっていることですが、それを具現化すること、原点に戻ってYMCAの地域密着型の奉仕の在り方、その拠点となる場所の設定等々の課題にどれだけ真摯に取り組めるかにかかっているのではないかと思うのです。



Pick up



4月9日(日)、朝7時より、神戸YMCA三宮会館チャペルに56名が集い、イースター早天礼拝をささげることができました。なお、礼拝席上で献げられました32,757円は、神戸YMCA国際協力募金のために感謝して用いさせていただきます。



5月13日(土)、神戸YMCA三宮会館チャペルにて創立記念礼拝をささげました。神田健次先生(関西学院大学名誉教授)からメッセージをいただき、創立当時の指導者の志を思い起こし、未来に向かって私たちの志を確認する時を持ちました。



2023年度神戸YMCA大会(総会)のご案内

神戸YMCA大会(総会)を下記のとおり開催いたします。

神戸YMCA大会は、神戸YMCAに関わる人たちが一堂に会する日として、世代を超え、神戸YMCAの歩みを確かめ、将来に向け語り合い、楽しく、喜びがあふれる一日とすることを願い、開催しています。

今年度も実行委員会の皆さまとともに準備を進めています。なお、今年度は、会場での開催を予定しています。多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

- | | |
|---|--|
| 1. 日時
2023年6月24日(土)13:30~17:30 | (3)この会の活動に関する計画及び予算の報告
(4)役員(常議員・監事)の選任
(5)常議員会より提出された議案の審議
(6)会員の交流及び意見交換
(7)ユースボランティアの委嘱
(8)会員の表彰
(9)その他 |
| 2. 会場
神戸YMCA三宮会館 | なお、議案につきましては、常議員会の審議を経て、総会構成員の皆さまにご案内いたします。 |
| 3. プログラム(予定) | 3)みんなで語ろう
グループディスカッションおよびグループ発表 |
| 1)開会 | |
| 2)総会
会則第26条2に定められた次の事項を行い、
また会員相互の交わりを深めます。 | |
| (1)神戸キリスト教青年会(神戸YMCA)の
全般報告 | |
| (2)この会の活動に関する報告及び決算報告 | |

ご不明な点などございましたら、本部事務局
(TEL:078-241-7201)までお問い合わせください。



※上の写真は2022年度の様子です。

スポーツと出会う場所 ウェルネスセンター学園都市

皆さまは“ラケットボール”というスポーツをご存知でしょうか。スカッシュとは似て非なる競技で、前後左右の4面の壁と天井を利用しながらゴムボールを打ち合う競技です。

先日、ラケットボールを楽しんでいる会員の方がこのようにお話ししておられました。「60歳を過ぎてから始めたが、この年になっても楽しく運動できている。上達したいと思うし、勝ちたいと思う相手がいると、練習を頑張ることができる。毎日充実しているよ」。

まさに心も体も健康だな、という感想を抱いたと同時に、そのきっかけのひとつがラケットボールとの出会いだということも、うれしく思いました。

ウェルネスセンター学園都市にはラケットボールのコートの他に、トレーニングマシンやプールもあり、さまざまなレッスンも行っていきます。ウェルネスセンターが、毎日をより健康的に過ごしていくための新たなスポーツやトレーニングに出会える場であらばと思います。



日本語学科入学式 神戸YMCA学院専門学校

4月6日(木)、47名の新入生を迎え、入学式を行いました。この春はミャンマーから16名、中国12名、台湾7名、韓国4名、インド2名、ベトナム、香港、マレーシア、日本、ウクライナ、フィリピンから各1名を迎えました。民族衣装の学生もいて、厳粛な中にも華やかな雰囲気が漂い、これから始まる神戸での新生活に期待が膨らむ式となりました。

7日(金)には、皆さまからいただいた生活支援物資(家電、日用品、食器など)を配布しました。いつも外国人留学生たちのことを思い、お気持ちを寄せてくださる皆さまに、心より感謝いたします。

学生の宿舎を手配してくださる業者の方に、「いろいろな日本語学校の学生に宿舎を手配しますが、(退去時の手続きのやり取りの際に)日本語が一番上手になっているのはYMCAの学生さんですね」と言っていただいたことがあります。とてもうれしい言葉でした。

これからもYMCAにつながる方々と共に日本語を学ぶ学生の留学生活を支えていきたいと思ひます。



灯台

Light House

No.37

総主事 井上 真二



追悼 第8代総主事 山口 徹さん

2023年2月に山口徹さんが天に召されました。大学時代に神戸YMCAのボランティアリーダーとして活動された後、神戸YMCAに入職。後に総主事、顧問を歴任されました。ユーモアにあふれ、赤いシャツ、お酒やお好み焼きがお好きで、何よりも人との交わりを大切にされる方でした。阪神・淡路大震災の時は救援本部長を務め、先頭に立って職員を鼓舞して下さる姿が印象的でした。私も折にふれて、主事とは、総主事とは、YMCAの外での働きの大切さを教えていただきました。私の心に残る山口徹総主事メモ(神戸青年2002年3月号掲載)を紹介します。

「神戸YMCAリーダー募集」より40年

山口徹総主事メモ

『神戸YMCAリーダー募集』の貼り紙を関西学院大学社会学部の掲示板に見出したのは、1962年4月入学間もない時でした。学部内での説明会に出席し、その時初めて青少年団体であるYMCAの働き的一端を知ったのでした。早速、翌土曜日の午後、中山手会館を初めて訪ねました。子どもたちが「リーダー！リーダー！」と私の側に走ってくるのではないですか。以後、リーダートレーニングなるものを受講しました。今井鎮雄主任主事、武田建さん、

その他主事さんによる講義は私にとって極めて爽やかなものでした。

4年間の少年部リーダー・キャンプリダーの経験は理論と実践を交互に学ぶ絶好の場でした。「彼がYMCAにて奉仕したいと申し出てきましたが、教会員の皆さんはそのことをご承知の上、お支えいただけるのですか？」とは、当時の今井総主事が私の所属する教会の小池文雄牧師に尋ねられた言葉です。「勿論です。」と答えて下さる牧師に続いて、「では、君は教会から遣わされてYMCAで証し人としてその働きを十二分になして下さい」と。牧師の感謝と激励の祈りをもって奉職面談が終了しました。YMCAと出合って以来、YMCAの働き人として丁度40年の月日が流れました。

何をなし得たかはよくわかりませんが、すべては神様のご存じであると信じていたいし、今後も神の業を続けてゆきたい。

神戸ワイズメンズクラブ、神戸ロータリークラブ、神戸いのちの電話理事長、兵庫県教育委員長、兵庫県青少年団体連絡協議会会長他、さまざまな役職を担われました。これまでのお働きを覚え心より感謝し、御霊の平安、ご遺族の癒しを心よりお祈り申し上げます。

山口徹名誉主事の略歴

- 1966年 関西学院大学社会学部を卒業
- 1966年 神戸YMCA入職(名古屋YMCAに転向)
- 1992年 神戸YMCA第8代総主事就任
- 2002年 神戸YMCA顧問就任
- 2003年 文部科学大臣表彰・社会教育功労賞受賞
- 2017年 兵庫県社会賞受賞

余島ユースフォーラム 「キャンプ」という形式を生かす 体験と学問の融合

余島ユースフォーラムは今年で3回目の開催となりました。気候危機をテーマに、導入のための小レクチャー、木こり体験、そして体験の言語化と相対化（ディスカッション）、ワークショップを繰り返し、3泊4日のキャンプ生活を通して「体験と学問」の融合を図ります。

自意識の時代、人々は自己に埋没しがちです。フォーラムの目的の一つは、できるだけ早く参加者に「自分語り」から抜け出してもらうこと。そのためにあらゆる方策を取ります。自意識の檻から出て、いったん信頼（委ね合い）に開かれれば、そこから先は加速度的に濃密さが増し、関係性に重みが生れます。そして享楽に巻き込まれると、まるで時間を感じなくなり、

思考の渦に包まれます。

組織キャンプの雛形であるエンカウンターグループワークの手法を用いて設計された、体験と言語化の繰り返しによるセミナーを、こうして今の時代にフィットさせるには、綿密な体験デザインが必要です。木こり体験も、焚き火も、カウシルファイヤーの語りも、人の意識と無意識、そして前意識のネットワークにアクセスする必要があるからです。

今回はテーマを「生態学的思考」にしました。自然生態系も社会も人の意識も、前提・被前提のネットワークによって不可逆的に構成されています。本気でこの社会に変革を起こしたいと願うなら、その存立構造を徹底的に理解することが必要です。キャンプ生活

の隙間に世界からの訪れがやってくるようなセミナーを、今後も続けていきたいと思えます。

余島ユースフォーラム

講師：宮台真司（社会学者、映画批評家）
座回し：阪田晃一（神戸YMCA）

2021年3月22日～25日
「気候変動から考える、私たちは何を引き受け、どう生きるか？」

参加者：43名

2022年3月18日～21日
「気候危機を福音として引き受ける」

参加者：34名

2023年3月21日～24日
「気候危機、エコロジー、自ずから然る」

参加者：20名

R E P O R T

学園都市YMCA保育ルーム

4月1日（土）、うらかな春の陽気の中で入園式が行われ、11名の新入園児が保育ルームに仲間入りしました。たんぼぼ組（1歳児）7名、ちゅうりっぷ組（2歳児）は進級園児3名を含む7名の合計14名で、新年度がスタートしました。

親子登園や慣らし保育では、登園時間になると子どもたちの泣き声が会館に響き渡っていましたが、ちよっぴり緊張した表情の中にもワクワクした様子が見られ、保育室をきょろきょろしながら歩きまわり、置いてあるおもちゃにそっと触れると、いつしか

笑顔で遊びだす、そんな愛らしい姿に思わず笑みがこぼれます。新しい環境にもどんと慣れ、自分で楽しみを見つけ、すべてをあそびに変えていく姿に、改めて子どもたちの力強さを感じています。

豊かな自然に恵まれた学園都市で、地域や会館の人たちとの出会いなどたくさんの刺激を受けながら、新しい1年を神様の見守りの中で、安心して過ごして行ってほしいと願っています。

新しいお友達を迎えました



西宮市立香櫨園留守家庭児童育成センター

神戸YMCAが運営している西宮市立香櫨園留守家庭児童育成センターでは、春休みに楽しい行事をたくさん行いました。新型コロナウイルスの影響で、3年生は昨年夏のキャンプに行けなかったのですが、やっとみんなで遠足に行くことができました。

行き先は、神戸にある「みなとや水族館」という旧小学校を改装した水族館です。水族館の前には、ニジマスがたくさん泳いでいる生けすがあり、子どもたちが竿で釣りをしました。活きのいいニジマスを「うわあー、ヌルヌルする!」「ぼくがとったげるわ!」など、

子どもたちが協力し合う姿が見られました。釣った魚は後で調理してもらい、食べる経験もできました。

また、昼食提供では「カレーハウス CoCo 壱番屋」のキッチンカーが育成センターに来てくれました。キッチンカーに並んでカレーをもらい、運動場で、子どもたちみんなで食べました。みんなたくさんおかわりして、青空の下で、お腹いっぱいになるまで食べました。



香櫨園放課後キッズルームの国際交流

神戸YMCAは西宮市の委託を受け、2022年から香櫨園小学校内で放課後キッズルームを運営しています。YMCAには留学生が保育園や学校を訪れ、母国や母国の文化などを紹介するプログラムがあることから、夏・冬・春休み中の数日間に小学生と遊ぶボランティアを神戸YMCA学院専門学校日本語学科の留学生に募ったところ、20名が参加してくれました。

放課後キッズルームに来てくれた留学生には、子どもたちと自由に遊んでもらいました。子どもたちは「一

緒にバスケして!」「ボードゲームしよう!」「紙芝居読んで!」と、一緒に遊んでくれるお兄さんお姉さんが大好きでした。「どこの国の人か」ということは全く関係なく、お兄さんお姉さんと全力で遊び、たくさん話をし、仲良くなっていきました。その姿を見て、子どもたちはいとも簡単に相手を受け入れることができるのだと感じました。このような経験を通して、相手との違いにとらわれず、自然と互いを認め合うことができる大人になってほしいと願っています。



YMCA STORY

YMCAのキリスト教教育

YMCA保育園・神戸YMCA高等学院
YMCA西神戸学童保育クラブ・ワイッ子クラブ

にわ かずこ
元チャプレン 丹羽 和子 さん
(名誉会員・神戸ポートワイズメンズクラブ)

私は西神戸にあるYMCA保育園や学童、高等学院などいわゆるキリスト教教育の場で、チャプレンとして子どもたちや若い方々と出会い、聖書を通して楽しい日々を過ごしてきたことに、とても深く感謝しております。ただ「キリスト教教育」というのはもっと幅広いものではないかと考えています。大学の「キリスト教教育」の担当教授に「キリスト教教育は知識を教える場であって伝道する場とは異なる」と言われたとき以来、伝道とキリスト教教育の違いは？そもそも分けられるのだろうか、などを問い続けてきました。キリスト教教育の歴史や意義などは紙面の限りがありますので、ここでは私のもつ「キリスト教教育」のイメージを書いてみることにしました。

パウロが「体は一つでも、多くの部分から成り」と言うように、「信仰」を一つの体に例えると、頭や心は信仰を伝える伝道の部分として、「キリスト教教育」はその体の指先の部分にあたります。指先は信仰をより分かりやすく、目に見えるものとするために用いられるのです。そのようなイメージでYMCAを眺め

ると、その活動のすべてが指先にあたり、つまりキリスト教教育の場になるのではないのでしょうか？従ってその働きは子どもたちの場だけに限らず、世代を超えたすべての場に及びます。YMCAの各活動でさざげられる礼拝や祈りだけでなく、キャンプ、ウエルネス、留学生や外国との交流、音楽活動、ワイズメンズクラブとのつながり等々その働きは無限です。それだけでなく建物や部屋の様子から、受付の対応に至るまで、すべてがキリスト教教育の場と考えられます。

かつて高等学院の授業の一環で教会のクリスマス礼拝に参加した生徒が「今までとは違うクリスマスの喜びを感じた」とつぶやきました。そして、その喜びが保護者にも伝わりました。キリスト教教育が思いがけない伝道の広がりを作り出していったのです。

このように、これからもYMCAの活動がイエス様の愛の体にしかりとつながる指先として、より自由で豊かなものを生み出していきますように、そのために私たち一人ひとりを用いていただきますようにと願っております。

ワイズコーナー

ワイズメンズクラブ創立100周年

わかばやししげゆき
六甲部部长 若林 成幸 さん(宝塚ワイズメンズクラブ)

2022年、ワイズメンズクラブは創立100周年を迎え、これを記念して神戸市内の3カ所に桜の若木を植えました。1本目はインターナショナル・チャリティーランが行われる「しあわせの村」に、2本目は市民が愛でる桜の園「布引公園」に、3本目は神戸市役所の南側に再整備された「東遊園地」に。春の桜、秋の紅葉と四季折々に新たな交流の場ができました。YMCAを中心に力強い絆が広がります。

【YMCAと社会奉仕団体の略史】

- 1821 YMCA創立者ジョージ・ウィリアムズ誕生
- 1844 ジョージ・ウィリアムズ、
同士12名とYMCA創立(英国)
- 1855 第1回世界YMCA大会・世界YMCA同盟結成
- 1880 東京YMCA創立
(1882 大阪YMCA、1886 神戸YMCA)
- 1905 ロータリークラブ創立(シカゴ)
- 1917 ライオンズクラブ創立(ダラス)
- 1922 ワイズメンズクラブ創立(オハイオ)
- 1929 ワイズ大阪クラブ創立
(1930 ワイズ神戸クラブ、
1931 ワイズ東京クラブ)

感謝・寄附

(敬称略、順不同)(前号掲載以降～4/15現在)

寄附

大田 厚三郎、徳永 憲枝、原 寛、上杉 徹、高田 裕之、
兼田 幸子、小仁 恵子、日本基督教団神戸教会、
ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部

国際協力募金

(トルコ・シリア大地震、ウクライナ支援、
スピーチコンテストを含む)

熊谷 郁子、吉村 千恵、片山 里花、阿部 望、吉野 智美、
井上 真二、功力 正士、松田 道子、松森 正樹、齊藤 靖、
中田 杉子、大津 創、権藤 みか、神野 敬子、
ロニー アレキサンダー、小川 光夫、
神戸中ロータリークラブ、日本基督教団東神戸教会、
幼保連携型認定こども園あゆみ幼児園、
認定こども園松蔭おかもと保育園、
幼保連携型認定こども園オリンピック都こども園、
社会福祉法人神戸婦人同協会青谷愛児園、
社会福祉法人聖ミカエル福祉会聖ミカエル北野園、
水道筋商店街協同組合、西宮ワイズメンズクラブ、
神戸ポートワイズメンズクラブ、
神戸西ワイズメンズクラブ、
イースター早天礼拝席上献金、
各YMCAの窓口募金箱

この他にも、多数の募金・寄附をいただいております。
感謝をもってご報告します。

2022年度 YMCA国際協力募金 報告

2022年度も、YMCA国際協力募金におきまして、皆さまからの温かいご支援、誠にありがとうございます。皆さまから寄せられた募金は、総額で4,182,153円となりました。以下の表の通り、神戸YMCAで用いさせていただくほか、日本YMCA同盟や関係団体を通して活動支援や国際交流、ユース育成、平和教育の啓発等の活動へと充てさせていただきます。

国際協力募金に携わってくださったすべての皆さまに、改めて、心より感謝申し上げます。

2022年度 YMCA国際協力募金 収支報告

【収入】		【支出】	
一般募金	1,685,674	日本YMCA同盟拠出金	350,000
指定募金	2,496,479	東南アジア農村支援(ラオス)	100,000
計	4,182,153	東南アジア子ども支援(口唇口蓋裂プロジェクト)	30,000
		定住外国人子ども奨学金	180,000
		神戸YMCA国際奨学金	240,000
		国際活動リーダーシップ養成	146,621
		オリーブの木/パレスチナ・ガザ支援	68,000
		ウクライナ支援募金	2,494,479
		トルコ・シリア大地震災害募金	262,000
		CODE・PHD協会支援	100,000
		開発・国際理解教育	120,070
		事務局経費	90,983
		計	4,182,153



神戸YMCAの使命

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

神戸YMCAの願い

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、
日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。
(神戸YMCA中期計画VISION2030)

ファミリーウエルネスセンター	☎078(241)7202	西神南YMCA	☎078(993)1560
ランゲージセンター	☎078(241)7204	須磨YMCA	☎078(734)0183
専門学校	☎078(241)7203	YMCA保育園	☎078(794)3901
西宮YMCA	☎0798(35)5987	西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992
余島野外活動センター	☎0879(62)2241	西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)	☎078(241)7216	神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955
国際・奉仕センター	☎078(241)7204	神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542
ウエルネスセンター学園都市	☎078(793)7401	YMCAちとせ保育ルーム	☎078(786)3821
西神戸YMCA	☎078(793)7402	西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705
神戸YMCA高等学院	☎078(793)7435	西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016
YMCAおひさま	☎078(793)9077	あかしこども広場	☎078(918)6355
		学園都市YMCA保育ルーム	☎078(794)3045

